



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第92号(2011年9月30日)



【サウジアラビアでイスラム債市場が発展】

サウジアラビアにおいて、大型プロジェクトの資金調達の手段の一環として今後イスラム債が使われることが見込まれています。昨今の金融市場における混乱を受けて、金融機関からの融資が厳しくなるかもしれないことが一因とされています。

サウジアラビアは進行中のプロジェクト総額が6,230億ドルにも及ぶとされ、多額の資金調達が必要だと考えられています。従来は、政府の資金および銀行のシンジケートローンによってこれらのプロジェクトのための資金調達が行われていました。

しかし、今回インフラ建設などのプロジェクトのために10億ドルのイスラム債が起債されることが予定されており、従来の資金調達手段にとってかわる代替手段として注目されています。

中東地域における大型プロジェクトについて、今後も銀行団による融資は行われると見込まれますが、その一方で、融資への姿勢が厳しくなり、相対的にコストがかかるようになるのではないかとされています。

今回プロジェクトによる大型の起債が行われれば、それを一種の雛形として、他のプロジェクトによる起債も出てくるであろうと市場関係者は予測しています。起債条件が固まるのは9月末の頃で、このようなプロジェクトのための起債条件、需要の強さなどが分かるだろうと期待されています。

同時に、規制当局のプロセスも固まりつつあり、投資家も債券について学びつつあることから、今後サウジアラビアの債券市場が発展することが期待されます。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【原油高による資金の使い道】

米国エネルギー省の推計によれば、OPEC加盟国は原油高によって、過去に前例のない1兆ドル規模の収入を今年得られる見込みとなっています。

過去には潤沢な原油資金を背景にアブダビがプレミアリーグのマンチェスターシティを買い、カタールがポルシェに投資をするような動きが見られましたが、最近では国民生活の改善に資金を投じる動きがでてきています。こうした支出により、社会の不穏な動きを抑える効果も見込まれています。たとえばサウジアラビアでは、3月にデモがありました。住宅建設のための新たな政府資金の投入などもあり、デモは大きな混乱には広がりませんでした。また、サウジアラビアでは、政府の職員は15%の昇給と2か月分の追加の賃金支払いがありました。クウェートでは、国民は現金約3,600ドルと13ヶ月にわたっての無料の食料が支給されることになりました。

【アップルがアラブ首長国連邦にオンラインショップをオープン】

iPhoneなどで知られるアップルがアラブ首長国連邦にオンラインショップをオープンしました。このオンラインショップではiPhone, iPad, iPod、そしてMacを取り扱っており、一定額以上の買い物をした場合は送料が無料になります。

また、一部の商品については現地の小売店の販売価格の方が高価なため、こういった小売店においても値下げの圧力がかかることが予想されています。

中東においてもiPhoneなどのプロダクトは人気が高く、現在も購入まで数週間待ちといった状態が続いているようですが、オンラインショップができた後も、暫くはこの在庫不足の状況は解決しないだろうと現地では予想されています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【アブダビの政府系ファンドがプライベート・エクイティに注力】

アブダビの政府系ファンドAbu Dhabi Investment Authority (ADIA)は世界で最大の政府系ファンドとして知られています。このADIAが、プライベート・エクイティに注力するためスタッフを倍増させる計画があるようです。同時に、プライベート・エクイティの運用会社各社とのミーティングを設定しているとのこと。

ADIAはプライベート・エクイティへの投資を1989年に開始し、これまでのところ、運用資産の2%から8%ぐらいの金額を投資してきました。最近ではプライベート・エクイティ業界の活動が活発ではないことから、プライベート・エクイティへの資産の割り当ては下限に近いとされています。

また、同時にインフラへの投資も活発化させる方針で、変化の激しい原油価格への依存を下げるためにも国内のインフラへの投資にも資金を投じていくとされています。

【カタールの政府系ファンドがドイツ企業への出資を模索】

自動車メーカーのフォルクスワーゲンや同じくドイツの建設会社であるホッホティーフに出資しているカタールが、新たに他のドイツ企業への出資を模索しています。カタールの政府系ファンドのCEOを務めるAhmad Mohamed Al-Sayed氏がベルリンで開かれた会合で明らかにしました。

ドイツのDer Spiegel誌の報道によれば、カタール政府の要人がドイツの閣僚と会談して、欧州の航空宇宙・国防関連企業EADSの7.5%の株式をダイムラーから買い取ることを検討しているとのこと。

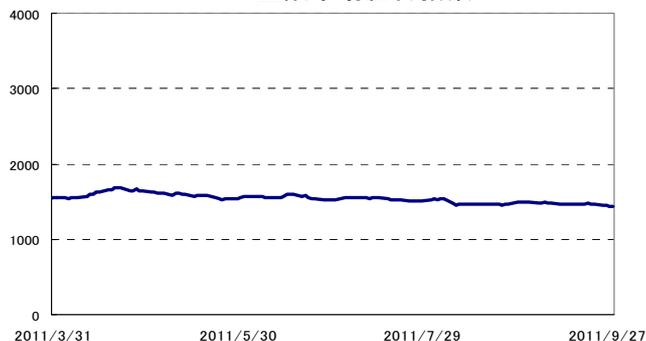


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

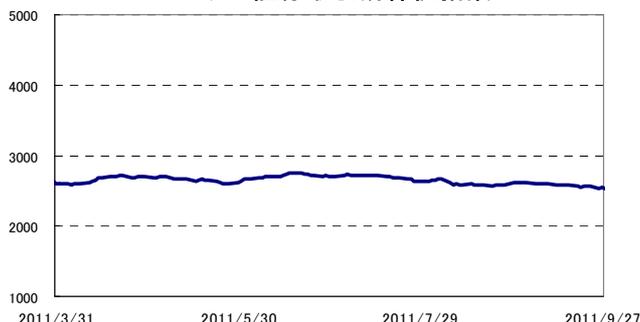


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

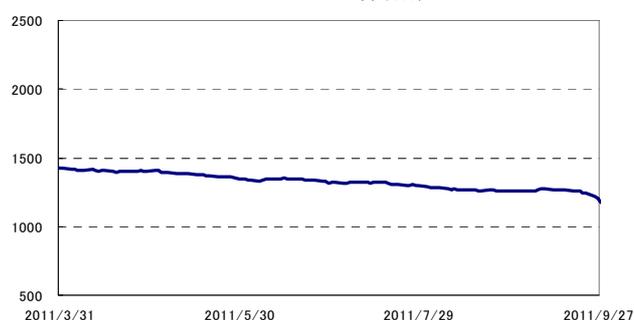
ドバイ金融市場総合指数



アブダビ証券取引所株価指数



バーレーン全株指数



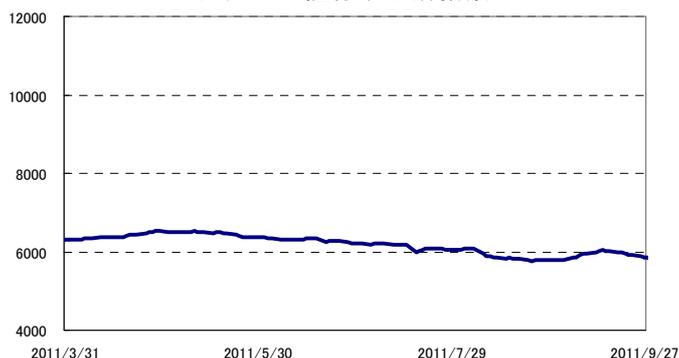
サウジアラビア タダウル全株指数



カタール DSM指数



クウェート証券取引所指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。